



学校通信



尼崎市立武庫東中学校

令和8年度 8・9月号

文責:校長 仁科 良久

「期待は応えるものじゃない。超えるものだ。」 (大谷翔平)

長い夏季休業が終わり、相変わらずの残暑の中で2学期が始まりました。長い休業期間に、一人ひとりが充実した日々を過ごし、大切なものを身につけたことと思います。

今年の夏は、地震や豪雨など日本各地で大きな災害が発生しました。今、生きていること、何気ない日々を当たり前のように過ごしていることの有難さを、ひしひしと感じました。

そのような中で、夏の甲子園での熊本県代表・有明高校の活躍が、強く心に残っています。

有明高校が熊本県を出発したのは、大規模な地震が発生したわずか二日後のことでした。新幹線をはじめとする交通網は大きな被害を受け、一時は甲子園への出場すら危ぶまれました。

しかし、地元の代表校を応援する多くの声に背中を押され、被災地の夢を背負い、彼らは甲子園へ向かうことを決意したそうです。

当時の報道を見ると、その期待がいかに大きかったかがよく分かります。大きすぎる期待は時に重圧となり、身体から自由を奪ってしまうものです。私自身も、高校生にここまで大きなものを背負わせることに、どこか不憫さすら感じるほどでした。

しかし、彼らはそれを力に変え、何度も逆境を跳ね返し、乗り越え、被災地だけでなく全国に、決してあきらめないことの尊さと、人の想いの強さを感じさせてくれました。

心理学者のケリー・マクゴニガル氏は、「強いプレッシャーやストレスを感じるのは、自分の人生や取り組んでいることに、それだけ大切な価値や意味があるからだ」と語り、ストレスを味方につけて人生を切り開く重要性を説いています。有明高校の選手たちも、大きな重圧を感じながら、それが自分たちを成長させる大きな力に変わること気づいたのではないのでしょうか。

本校の生徒も、今後様々な重圧やストレスに出会っていくことでしょう。その時々、「これを乗り越えることは、自分の人生にとって大きな価値がある」と信じてほしいと思います。失敗しても諦めず、何度でも、周囲の期待を力に変えて進んでほしいと、切に切に願います。

◎9月の主な学校行事◎

1日(火)実力考査

10日(木)校内研究授業(対象クラス
以外は5校時で下校

11日(金)生徒総会

2学期の主な行事予定

10月1・2日 中間考査 11月18～20日 期末考査

10月17日(土) 市立総体 12月25日(金)終業式

10月23日(金) 文化発表会